PR

関西大学
高槻ミューズ
キャンパス
構想

小中高の一貫教育で「人間力」を育成

来年4月、大阪府・JR高槻駅前に関西大学の新たなキャンパスが誕生する。ここには同大学初の小学校を開設するほか、中学・高校、さらには大学・大学院までの一拠点一貫教育の構想が進められている。

「5つの力」を発展的に高める教育

日本の学校は小学校6年、中学3年、高校3年。さらに4年制大学を加えて「六・三・三・四制」といわれる。しかし小・中は義務教育で、高校進学率も97・8%（2008年度卒業者）。このため公立でも中高の一貫教育校が増加しているほか、小中を接続した一貫校もある。

関西大学では、それをさらに進めた小・中・高の12年一貫教育と、大学・大学院も含めた新キャンパスをJR高槻駅前に設置予定だ（名称は「高槻ミューズキャンパス」）。

「関西大学は123年の歴史がありますが、小学校だけがありませんでした。そこで来年、初めてとなる小学校を設置する予定ですが、中学・高校・大学・大学院までの一拠点一貫教育を構想しています」（今宮信吾先生）

「小学生から大学生までが一つのキャンパスで学校生活を送ることを生かした、様々な形での学びを考えています。また、異学年での活動により子どもたちの縦のつながりを深め、情感豊かな心を育みます」（田中達也先生）

こうした一貫教育は、子どもだけでなく、教師にも大きなメリットがある。

「卒業すればそれで終わりではなく、小学校の教師が高校教師と交流することで、子どもの成長・発達を長期に見据えた教育改革や工夫も可能になってきます」（今宮先生）

関西大学の小・中・高一貫教育の目標は、「確かな学力」「国際理解力」「健やかな体」「情感豊かな心」に支えられた、「高い人間力」の育成。この「5つの力」（上記イラスト参照）を継続的に教育できることが最大の特長であり、それを推進するための独自のカリキュラムや様々な工夫が検討されている。ここでは「スパイラルアップ型教育」「パーソナル・ポートフォリオ」「ハイブリッド型教育」という3つのユニークな試みに絞って紹介しよう。

関西大学の教育目標「5つの力」

一拠点一貫教育のメリットを最大限に活用。個人の成長を継続的に把握しながら、人間力の基礎を養い、高い倫理観と品格を有する「高い人間力」を持つ人材を育成する。

発達段階に応じて繰り返し学ぶ

まず「スパイラルアップ型教育」だが、これは下記イラストを見ていただきたい。各学校段階での接続ギャップがないため、発達段階に応じて繰り返し学ぶことで、詰め込みではない「確かな学力」を身につけられるという。

「12年間を見通し、内容を深めながら繰り返し学ぶことで、知識・技能の確実な習得に加え、活用力や探究力等、質の高い学力が身につきます」（田中先生）

このカリキュラムでは「高次思考能力」の育成を目標としていることにも注目したい。具体的には「知識→理解→応用→分析→総合→評価」という思考サイクルだ。「12年一貫教育だからこそ可能な目標。小学校低学年は『知識→理解→応用』に重点を置きます。卒業までに『評価』まで経験させ、中学では質的なレベルや量的な向上を図ります」（今宮先生）

そうした学習の過程と成果をデータとして記録していくのが「パーソナル・ポートフォリオ」だ。田中先生は「一人ひとりの学習歴や活動歴、また評価等、成長の足跡が蓄積されることで、教師のきめ細かい支援はもちろん、子ども自身もそれらを確認しながら次の目標を設定することが可能になります」と語る。もちろん保護者にとっても、目に見えにくい子どもの内的成長を把握できる有力なツールといえる。

「セキュリティ対策も含めて、私たち教師だけではとても構築できないので、関西大学総合情報学部の支援をいただく予定です」と今宮先生が付け加えたように、関西大学のリソースや外部の人材活用、それに地域との連携が「ハイブリッド型教育」となる。

「新キャンパスは高槻市の再開発事業の一つ。防災拠点でもあるので地域連携は外せません。ボランティア活動や地域の小学校との交流など様々な方法を考えています」（今宮先生）

学内では異年齢の子どもたちや大学生との活発な交流があり、地域にも開かれた学校。その中で規律や協調性、忍耐力や思いやり、リーダーシップを学んでいくという。

新キャンパスは来年4月に開校予定。校舎の建設が急ピッチで進められている。

「教師全員が夢を持って取り組んでいます。ですから、子どもたちと一緒に素晴らしい学校を創りあげていく気持ちを保護者の方にも持っていただきたいですね」（今宮先生）

早期からの英語やICT教育、小学校5・6年の教科担任制など学力面もさることながら、「好奇心が強く、簡単に挫けない子どもに育てたい」という両先生の言葉に共感した。

1

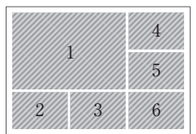
4

5

2

3

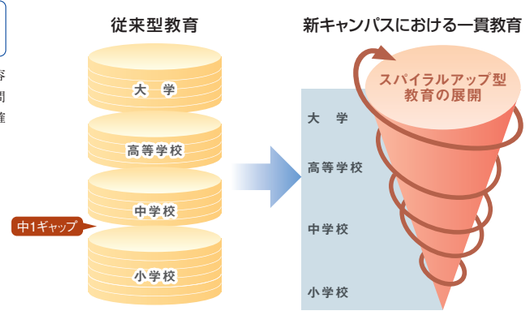
6



1. 小・中・高・大学・大学院が同居する新校舎全景。
2. 温水プール.左上はアリーナ。
3. マルチメディア・AV教室。
4. 初等部オープンスペース。
5. 初等部英語教室。
6. 初等部図書室。

「確かな学力」を身につけるスパイラルアップ型教育

従来のカリキュラムで生じていた教科内容の重複や急激に難易度が増すといった問題（「中1ギャップ」など）を解決すべく、「確かな学力」を発展的に身につける。



今宮 信吾先生
兵庫県公立小学校、神戸大学発達科学部附属住吉小学校を経て現職。昨年度より関西大学初等部開設準備委員・特別任用教諭。

田中 達也先生
大阪府教育委員会指導主事等を経て、関西大学初等部開設準備委員・特別任用教諭。

THINK×ACT
関西大学
KANSAI UNIVERSITY
http://www.kansai-u.ac.jp/tnc/

取材、文／笠木 恵司（チーム・スパイラル）　写真／藤田 郁子　デザイン／藤原 光寿　企画・制作／AERA with Kids AD セクション